

会 議 録

会 議 名	佐久市立望月歴史民俗資料館協議会
日 時	6月11日(金) 午後3時～4時10分
場 所	駒の里ふれあいセンター 2F会議室
出 席 者	委員8名 事務局4名(文化振興課長、望月歴史民俗資料館長、文化振興課職員2名)

【会 議 内 容】

1 開 会

2 あいさつ 文化振興課長・望月歴史民俗資料館長・会長
(委員・事務局自己紹介)

3 会議事項

(1) 令和2年度事業報告について

別添報告書のとおり事務局より説明。

(2) 令和3年度事業計画(案)について

別添事業計画書のとおり事務局より説明し、計画(案)は承認。以下の質問や提案、意見が出された。

質疑応答

委員：今年は30周年記念として特別な年であるから、今から事を行うべきである。

この30年間で講座を続けてきたことは素晴らしい。何をどのようなに行ってきたかこの機会に資料を整理することが望ましい。

事務局：資料が残っているものについては整理しまとめていきたいと思えます。

委員：ケーブルテレビも取材しているから、それも併せて資料とした方が良い。

30周年記念誌とケーブルテレビで放映した内容のDVDをセットにして発売したらどうか。

事務局：販売に関しては、DVD制作費用や著作権等の関係もあり難しいと考えております。

委員：望月には資料もたくさんあることから全国から来る方も多いので、詳細に説明はできなくても、このようなことを行っていることを知っていただくために必要である。必要な方はそのような資料を探している。

事務局：貴重なご意見をいただきました。ただ今のご意見につきまして、資料は講師がそ

の講座に対して作成したものであり、後々までに配布してよいものか確認していないので、先ほどの著作権、肖像権についての部分に触れる。しかし、貴重な資料を積み上げてきたことから資料はあるが、資料館で行うことは難しい部分があります。

委員：販売はともかく必要に応じ残してほしいものは取り組んでいただきたい。

また、今の状況で榊祭りは開催しないと聞いているが、榊祭りの歴史についても取り組んでいくのも良いのではないか。

事務局：今後の事業計画を検討する中で参考とさせていただきたいと思います。

委員：これまで館で行う事業についての告知はどのように行ってきたのか？

事務局：歴史講座はサクライフ、企画展等は佐久ケーブル、FM さくだいらまで拡大告知している状況です。

委員：興味づくりを広げたいと思うのなら、委員の中でスマホや SNS を使うのはどのようなものか？

事務局：幅広い年齢にアピールしていくことは必要と考えられます。今年度望月中 1 年が地域学習のために来館する予定となっております。来年度以降、小中学生を対象に夏休みに自由研究のお助けが出来たらと考えている。

また、告知については、来館者が自ら発信していただく効果もあり、今どきの発信になるが、行政では佐久ネットで告知を行っている。イベントをアピールするには費用もかかります。例えばキッズサーキットは地域を限定して PR を促す試みも試験的に行っておりますが、今後においては、告知を含め新しいやり方を研究していきたいと考えております。

委員：企画展においては、「望月小唄と望月」を題材にしているが、望月小唄はてじま藤間の振付であったが、現在は民謡調になっている。であるため、本来の踊りと変わってきていることを示したい。一度本来のものを復元できればと思っている。以前、フェイスブックに上げたが、ほとんど拡散しなかった。これを現在、SNS で発信すれば拡散するのではないか。大変有効なものとなる。色々な媒体があるから、お金を掛けなくてもよいところまで行くのではないかと思います。

委員：昨年の入館状況で当館は前年比約 53%減であるが、他の館の状況はどのようなになっているのか

委員：天来記念館は前年比 8 割減、他の施設も同様に落ち込んでいる状況であります。

ただし、川村吾蔵記念館においては、コロナが落ち着いた 3 月時にイベントを開催したことなどにより前年より来館者が増えました。